

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 建設部道路建設課 =

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	342	市道柏原堀切小敷塚1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	国道23号蒲郡バイパス(仮称)蒲郡西ICと蒲都市街地を結ぶアクセス道路として、
対象(受益者) (誰・何を)	市道柏原堀切小敷塚1号線(都市計画道路竹谷柏原線の一部)を新設整備することにより、
目標 (目指す成果)	国道23号蒲郡バイパス(仮称)蒲郡西ICから市街地への車両交通を分散させ、幹線道路網を整備し、地域の交通の安全を確保する。
そのための 手段 (手法)	市道柏原堀切小敷塚1号線(都市計画道路竹谷柏原線の一部)を新設整備するため、道路用地を取得し、工事を施工する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収						
物件補償						
工事費(委託料等を含む)	4件	181,254千円	3件	106,777千円	1件	25,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	
	実績	100.00%	100.00%		年度
買収人数率	目標			-	
	実績	100.00%	100.00%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.59人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.18人	係長級	0.10人	一般職	0.26人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.46人	次長 課長級	0.08人	補佐級	0.11人	係長級	0.02人	一般職	0.25人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	181,254	106,777	25,000
	人件費	4,364	3,221	
	合計	185,618	109,998	
財源 内訳	特定財源	77,000	50,400	11,100
	一般財源	108,618	59,598	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。国道23号蒲郡バイパスは、平成24年度末までに(仮称)蒲郡ICまでの供用を目標に事業を進めている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	国道23号蒲郡バイパスは、平成24年度末までに(仮称)蒲郡ICまでの供用を目標に事業を進めている。事業主体である、国と連携を密にし事業の進捗を図っている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	平成24年度末の目標に事業を進めており、事業が完了の見込みのため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	343	市道西浦堂前浜田1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		

事務事業の内容

目的 (何のために)	形原町及び西浦町の中心市街地を通る、県道深溝西浦線の慢性的な交通渋滞の解消を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	市道西浦堂前浜田1号線(形西線3工区)を整備する。
目標 (目指す成果)	地域経済の活性化、歩行者の安全確保、市民生活の利便性の向上、交通渋滞の解消及び災害時における緊急輸送道路としての機能を図る。
そのための 手段 (手法)	市道西浦堂前浜田1号線用地を取得し、道路新設工事を施工する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	面積	千円	面積	千円	面積	千円
用地買収	823.60㎡	34,240千円	98.59㎡	8,549千円	332.53㎡	17,150千円
物件補償	3件	25,650千円	1件	9,108千円	1件	40,000千円
工事費(委託料等を含む)	3件	580千円	1件	7,485千円	1件	39,450千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			100.00%	年度
	実績	94.96%	96.12%		
買収人数率	目標			100.00%	年度
	実績	96.40%	96.40%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.50人	次長 課長級	0.13人	補佐級	0.12人	係長級	1.25人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.86人	次長 課長級	0.30人	補佐級	0.13人	係長級	0.38人	一般職		非常勤		再任用	0.05人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	60,470	25,142	96,600
	人件費	12,335	7,109	
	合計	72,805	32,251	
財源 内訳	特定財源	32,450	9,350	27,500
	一般財源	40,355	22,901	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。平成24年度末を目標に県道東幡豆蒲郡線まで供用開始の予定で事業を進めている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成16年度から用地買収を開始し、一部区間は供用開始済みだが、残る1件については、任意による用地の取得は難しい状況にある。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	事業に反対し、用地取得が難航しているため、投入された予算、人工に見合った事業効果をあげていない。収用も視野に検討し、暫定供用の方法等、事業の進め方も検討し、事業の進捗を図る。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	残る地権者は事業計画に当初から反対のため、平成24年度を目標年度とした供用開始は難しい。任意交渉と並行し、土地収用を判断する時期である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	収用を視野に、愛知県と事業認定について事前相談を行い、並行して、愛知県公安委員会と協議を重ねてきた。早期に供用開始できよう検討し、事業の進捗を図る。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	344	市道油井20号線外1線		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道油井20号線外1線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	JR三河塩津駅及び名鉄競艇場前駅を利用する通勤・通学者の利便性の向上を図り、通学路として安全を確保する。
目標 (目指す成果)	三河塩津駅前広場整備とあわせ、市道油井20号線外1線を整備し、利便性の向上、通勤・通学者の安全を確保する。
そのための 手段 (手法)	市道油井20号線外1線を整備するため、道路用地を取得(競艇事業部から所管換)し、工事を施工した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収(競艇事業部予算)	845.50㎡	55,628千円				
物件補償(競艇事業部予算)	2件	4,759件				
工事費(委託料等を含む)			2件	16,700千円	1件	21,500千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	100.00%	-		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	100.00%	-		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.35人	次長 課長級	0.08人	補佐級	0.05人	係長級		一般職	0.17人	非常勤		再任用	0.05人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	60,387	16,700	21,500
	人件費	0	2,246	
	合計	60,387	18,946	
財源 内訳	特定財源	0	9,300	
	一般財源	60,387	9,646	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	駅から競艇場への導線として市道油井20号線が計画され、平成11年度から用地買収を開始した。売り上げ減少により用地取得が中断し、上空通路も廃止となり、当初の計画幅員で整備することとなったため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	上空通路の廃止により、事業計画・規模等の見直し、変更をすべきであった。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	市道油井20号線外1線は、三河塩津駅前広場の完成により、道路としての機能を果たすことが出来る。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	345	市道西名田の場1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	平成5年度～	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	形原町及び西浦町の中心市街地を通る、県道深溝西浦線の慢性的な交通渋滞の解消を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	市道西名田の場1号線(都市計画道路深溝西浦線の一区間)を整備する。
目標 (目指す成果)	地域経済の活性化、歩行者の安全確保、市民生活の利便性の向上、交通渋滞の解消及び災害時における緊急輸送道路としての機能を図る。
そのための 手段 (手法)	市道西名田の場1号線用地を取得し、道路新設工事を施工する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	面積	金額	面積	金額	面積	金額
用地買収	139.35㎡	9,741千円	208.82㎡	14,580千円	89.50㎡	6,273千円
物件補償	1件	41,100千円	1件	42,792千円	1件	17,147千円
工事費(委託料等を含む)	3件	1,417千円	3件	394千円	1件	35,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	92.40%	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	96.30%	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.33人	次長 課長級	0.23人	補佐級	0.10人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.69人	次長 課長級	0.14人	補佐級	0.05人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	0.40人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	52,258	57,766	58,420
	人件費	3,169	3,433	
	合計	55,427	61,199	
財源 内訳	特定財源	27,500	30,600	16,500
	一般財源	27,927	30,599	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。平成22年度末(一部平成23年度へ繰り越し)で用地買収が完了したため、平成23年度中に工事を行い供用開始の予定。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成5年度から用地買収を開始し、一部区間を残し供用開始したが、事業期間が長く、全線開通となっていないため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	都市計画道路深溝西浦線の代替道路として整備を進めたが、用地取得が難航し、投入された予算、人工に見合った事業効果をあげていない。事業開始後、一定期間を経過したら、収用を視野に事業の進捗を図るべきである。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	行政不信、代替地の詮索、地価の下落、補償額の減額など期間が長いほど地権者の理解を得られにくくなる。一定期間を経過したら、土地収用法を活用し、土地利用の拡大等を図るべきである。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	346	市道王子6号線外2線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	愛知県が施行する国道247号中央バイパスと交差する市道の機能回復を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び地域住民の利便性及び交通安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	市道王子6号線外2線ほかを整備することにより、救急車両等の通行を可能にし、市民及び地域住民の利便性及び交通安全の向上に資する。
そのための 手段 (手法)	愛知県から補助を受け、道路用地を取得し、道路改良工事を施工した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	面積	金額	面積	金額		
用地買収	174.75㎡	4,270千円	72.61㎡	1,372千円		
物件補償	6件	3,159千円	2件	282千円		
工事費(委託料等を含む)	6件	6,305千円	4件	13,846千円		

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	17475.00%	7261.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	600.00%	200.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.39人	次長 課長級	0.07人	補佐級	0.22人	係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.64人	次長 課長級	0.04人	補佐級	0.23人	係長級	0.15人	一般職	0.22人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	13,734	15,500	-
	人件費	3,506	4,772	
	合計	17,240	20,272	
財源 内訳	特定財源	5,750	5,000	
	一般財源	11,490	15,272	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	愛知県が施行する国道247号中央バイパスと交差する市道王子6号線外2線の機能回復を図るため、愛知県から補助を受け、用地を取得し工事を施工した。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	愛知県から補助を受け、用地を取得し工事を施工した。補助を受けることができる事業については、事業費の約5割で道路改良が出来るため、今後も、補助は積極的に受けていく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	愛知県の補助は、繰越できないため、市民への事前の周知・理解が重要となってくる。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	347	市道清田大口清田欠下1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道清田大口清田欠下1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の土地利用の促進、利便性及び交通安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	国道23号蒲郡バイパスに関連し、同バイパスの側道となる市道清田大口清田欠下1号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	平成19年度に道路用地は取得し、平成21年度及び平成22年度で一部区間の工事を施工した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収						
物件補償						
工事費(委託料等を含む)	1件	11,661千円	2件	9,252千円	1件	12,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	100.00%	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	100.00%	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.50人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.20人	係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.18人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.02人	係長級	0.10人	一般職	0.01人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	11,661	9,252	12,000
	人件費	4,593	1,486	
	合計	16,254	10,738	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	16,254	10,738	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	国道23号蒲郡バイパスに関連した市道の整備であり、名四国道事務所の工期に併せて工事を行うため、用地取得後、一部区間の工事が未施工のままとなっているため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	国道23号蒲郡バイパス事業主体の名四国道事務所と、さらに連絡を密にし、工事を発注する必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	平成24年度を目標とする事業が集中するため、市道清田大口清田欠下1号線ほかの予算措置が十分に確保できるか、不安がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	348	市道仲野上千尾1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	2点 まもなく実施に入れる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道仲野上千尾1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	西大塚地区の住民の通勤・通学路の整備、周辺住民の安全・安心を確保するため、
目標 (目指す成果)	大塚上千尾地区ほ場整備事業の中の取付け道路として、通勤・通学路の整備、周辺住民の安全・安心を確保する。
そのための 手段 (手法)	市道仲野上千尾1号線道路用地を取得した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収			237.43㎡	3,941千円	3,100.00㎡	50,000千円
物件補償			2件	2,622千円		
工事費(委託料等を含む)	1件	1,470千円	5件	10,448千円	1件	3,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	12.50%	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	20.00%	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.27人	次長 課長級	0.22人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.75人	次長 課長級	0.08人	補佐級	0.05人	係長級	0.50人	一般職	0.12人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,470	17,011	53,000
	人件費	2,611	5,753	
	合計	4,081	22,764	
財源 内訳	特定財源	0	0	15,000
	一般財源	4,081	22,764	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	平成15年度に用地買収を開始後、6年間の事業中断期間があったため。

総合評価

総合評価	C 事業の計画、内容及び規模等の改善、縮小の検討が必要である
理由	ほ場整備地区内も市道仲野上千尾1号線として整備を行うため、結果、事業が完了するまでに長い時間を要した。市道の整備とほ場整備を分離し計画・整備すれば事業の進捗を図ることができる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ほ場整備地区内も整備を行うため、今後、短期間のうちに、多額の用地に加え工事費が必要となる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	349	市道西長根前田1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	2点 まもなく実施に入れる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道西長根前田1号線(都市計画道路五井線の一部)を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	市民病院へのアクセス道路として、消防署からの救急車や消防車の経路として利用し、
目標 (目指す成果)	市民の財産を守り、人命を救助し、住民の安全と安心を確保することができる。
そのための 手段 (手法)	残り1件となった地権者と任意交渉により用地を取得する。並行して、土地収用法に基づく手続きを行っていく。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	面積	千円	面積	千円	件数	千円
用地買収	1,021.83㎡	189,094千円	276.93㎡	6,480千円		
物件補償			1件	215千円		
工事費(委託料等を含む)	1件	4,725千円	5件	3,461千円	2件	2,293千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			100.00%	年度
	実績	85.10%	85.10%		
買収人数率	目標			100.00%	年度
	実績	80.00%	80.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.27人	次長 課長級	0.23人	補佐級	0.02人	係長級	0.02人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	1.01人	次長 課長級	0.56人	補佐級	0.07人	係長級	0.03人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	0.20人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	193,819	10,156	2,293
	人件費	2,591	7,511	
	合計	196,410	17,667	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	196,410	17,667	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	市道西長根前田1号線の整備は、昭和63年度から始めたが、地権者との合意が得られず、無駄に長い時間を要してしまった。そのため、平成21年度から、任意買収と並行し、収用も視野に事務を進め、土地収用法に規定する「事業認定」を、平成23年度に申請できる見込みとなった。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	任意交渉と並行し、収用を視野に事務を進めてきた結果、平成23年度に事業認定申請を、平成24年度には、裁決申請等を提出し、平成26年度には工事をを行い、供用開始の見込みである。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	相続人7名が残る未買収地を所有(法定相続)しているが、高齢であり、収用手続きに時間がかかると、新たな相続が発生しかねない。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	道路事業については、今後、一定の期間を経過した事業については、収用を視野に事業の進捗を計るべきである。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	350	市道拾石五反田5号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	1点 実施の目処がたっていない		

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道拾石五反田5号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性、交通及び安心・安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	市道拾石五反田5号線を整備することにより、緊急・救急車両が通行できるようになり、拾石町民の利便性、安心・安全に資する。
そのための 手段 (手法)	市道拾石五反田5号線を整備するための道路用地を取得する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収						
物件補償						
工事費(委託料等を含む)			2件	1,178千円		

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	-	0.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	-	0.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.32人	次長 課長級	0.06人	補佐級	0.01人	係長級		一般職		非常勤		再任用	0.25人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	1,178	0
	人件費	0	1,364	
	合計	0	2,542	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	2,542	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	拾石町の中心に位置する市道拾石五反田5号線の整備を図るため、地権者の同意を得て用地測量及び物件調査を行ったが、用地買収の予算措置の目処がたっていないため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	市道拾石五反田5号線の整備を図るため、予算措置が出来るよう努力していく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	市道拾石五反田5号線ほか、地元からの請願道路については、財政状況が厳しく、予算措置が出来ない状況にある。市民の安全・安心を確保するためにも、一定規模の予算措置は必要と思われる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	351	市道豊岡小迫豊岡五反田1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道豊岡小迫豊岡五反田1号を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	国道247号中央バイパスに関連し、市道豊岡小迫豊岡五反田1号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道豊岡小迫豊岡五反田1号を整備ため道路用地を取得した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収		0.09m ²	4千円		
物件補償					
工事費(委託料等を含む)		1件	117千円		

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標				年度
	実績	-	100.00%		
買収人数率	目標				年度
	実績	-	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.11人	次長 課長級	0.01人	補佐級	0.05人	係長級	0.05人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	121	0
	人件費	0	932	
	合計	0	1,053	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	1,053	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	国道247号中央バイパスに関連し、市道豊岡小迫豊岡五反田1号線の整備を図り、周辺住民の利便性及び交通安全の向上を図ることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単年度により事業が完了するため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	352	市道烏帽子北大明地1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道烏帽子北大明地1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	(仮称)形西線第2工区の市道西名田的場1号線に関連する、市道烏帽子北大明地1号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道西名田的場1号線の代替地を測量するための委託料を執行した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
用地買収			
物件補償			
工事費(委託料等を含む)		1件 57千円	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標				年度
	実績	-	-		
買収人数率	目標				年度
	実績	-	-		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.02人	次長 課長級	0.01人	補佐級	0.01人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	57	0
	人件費	0	184	
	合計	0	241	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	241	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市道西名田的場1号線の代替地を測量するための委託料を執行したものの。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	(仮称)形西線第2工区の市道西名田的場1号線の用地買収の完了に目処をつけることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単年度により事業が完了するため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	353	市道神谷門戸向山1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道神谷門戸向山1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	(仮称)形西線第3工区の市道西浦堂前浜田1号線に関連する、市道神谷門戸向山1号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道神谷門戸向山1号線を整備するための道路用地を取得し、整備した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収		60.91㎡	1,273千円		
物件補償					
工事費(委託料等を含む)		2件	200千円		

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.13人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.01人	係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	1,473	0
	人件費	0	1,061	
	合計	0	2,534	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	2,534	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	(仮称)形西線第3工区の市道西浦堂前浜田1号線に関連する、市道神谷門戸向山1号線の整備を図り、周辺住民の利便性及び交通安全の向上を図ることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単年度により事業が完了するため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	354	市道木森東観嶽1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道木森東観嶽1号を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺の雨水を処理し、周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡IC東の市道木森東観嶽1号線の整備を図り、周辺の雨水を処理し、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道木森東観嶽1号線を整備するため、排水証査設計・実施設計等を委託し、道路用地を取得する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収						
物件補償						
工事費(委託料等を含む)			1件	494千円	1件	7,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標				
	実績	-	0.00%		年度
買収人数率	目標				
	実績	-	0.00%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.05人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.02人	係長級		一般職	0.01人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	494	7,000
	人件費	0	420	
	合計	0	914	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	914	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡IC東の市道木森東観嶽1号線の整備を図るため、周辺の雨水を処理するため、排水証査設計を委託した。今後、詳細設計、用地取得を行っていくため時間を必要とする。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	幹線道路関連の整備であり、国道23号蒲郡バイパスの計画に合わせ整備を行うことで、効果があがる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	355	市道神ノ郷19号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道神ノ郷19号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡西IC南の市道神ノ郷19号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道神ノ郷19号線を整備するため道路用地を取得した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収		99.83㎡	1,517千円		
物件補償		1件	21千円		
工事費(委託料等を含む)		1件	3千円		

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.05人	次長 課長級	0.01人	補佐級	0.02人	係長級	0.02人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	1,541	0
	人件費	0	429	
	合計	0	1,970	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	1,970	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡西IC南の市道神ノ郷19号線の整備を図り、周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図ることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単年度により事業が完了するため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	356	市道神保上名取1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	平成22年度	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道神保上名取1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図る。
目標 (目指す成果)	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡西IC南の市道神保上名取1号線の整備を図り、道路網の整備と交通安全の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	市道神保上名取1号線を整備するため道路用地を取得した。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収		41㎡	623千円		
物件補償					
工事費(委託料等を含む)					

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
買収人数率	目標			-	年度
	実績	-	100.00%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.05人	次長 課長級	0.01人	補佐級	0.02人	係長級	0.02人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	623	0
	人件費	0	429	
	合計	0	1,052	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	0	1,052	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	国道23号蒲郡バイパスに関連し、(仮称)蒲郡西IC南の市道神保上名取1号線の整備を図り、周辺住民の利便性及び交通の安全の向上を図ることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単年度により事業が完了するため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	357	市道清田前田葉蒲1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	平成20年度	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道清田前田葉蒲1号線(都市計画道路神ノ郷線)を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	国道23号蒲郡バイパス(仮称)蒲郡西ICを利用する車両及び市民の利便性・安全性を確保し、
目標 (目指す成果)	道路交通網の整備、市民の生活及び環境の整備を図り、市民福祉の向上に資する。
そのための 手段 (手法)	市道清田前田葉蒲1号線延長110mの整備を図るため、用地買収・工事の進捗に努める。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収	112.29㎡	5,024千円				
物件補償						
工事費(委託料等を含む)	1件	40千円				

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標				
	実績	17.90%	17.90%		年度
買収人数率	目標				
	実績	60.00%	60.00%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.70人	次長 課長級	0.39人	補佐級	0.03人	係長級	0.22人	一般職	0.06人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.59人	次長 課長級	0.11人	補佐級	0.01人	係長級	0.45人	一般職	0.02人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	5,064	0	0
	人件費	6,169	4,757	
	合計	11,233	4,757	
財源 内訳	特定財源	2,500	0	
	一般財源	8,733	4,757	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	国道23号蒲郡バイパス蒲郡ICの開通にあわせ整備を行ってきたが、平成24年度末供用開始の時間までに用地を取得し、工事を完了するのが困難な状況にあり、事業計画を見直し、整備を図る必要がある。

効率性

効率性	D 投入された予算、人工に対して見合った成果が殆どない
理由	道路は工事が完了し、供用できることによりその効能を発揮する。用地取得の見込みがたらず、事業計画に大幅な遅れが生じているため。

総合評価

総合評価	C 事業の計画、内容及び規模等の改善、縮小の検討が必要である
理由	平成20年度から概ね5年間での整備を計画したが、代替地、道路の法線の不満等から用地取得が困難な状況にある。事業計画の見直しが必要である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	都市計画道路神ノ郷線との整合性の説明、希望する代替地の詮索に努めるが、用地取得後の工事に多額の費用を必要とするため、資金計画の見直しも必要となる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	358	市道東中畑田土山1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い			

事務事業の内容

目的 (何のために)	形西線1工区の起点と交差する市道東中畑田土山1号線の整備を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	市道東中畑田土山1号線道路用地を取得することにより、
目標 (目指す成果)	平成21年3月に供用開始後、事故が多発している交差点を改良し、事故の発生を防止する。もって、道路交通網の整備、市民の安全と地域住民の利便性の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	新たに信号機を設置するため交差点を改良し、交通事故の発生を防止する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収	-	-	-	-	200.00m ²	16,000千円
物件補償	-	-	-	-	1件	5,000千円
工事費(委託料等を含む)	3件	10,781千円	-	-	1件	9,050千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			31.02%	100.00%
	実績	-	-		H24年度
買収人数率	目標			33.33%	100.00%
	実績	-	-		H24年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.19人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.14人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.38人	次長 課長級	0.08人	補佐級	0.15人	係長級	0.10人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	10,781	0	30,050
	人件費	1,777	3,142	
	合計	12,558	3,142	
財源 内訳	特定財源	0	0	11,000
	一般財源	12,558	3,142	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	平成21年3月に供用開始後、事故が多発。信号機を設置するため交差点を改良し、交通事故の発生を防止し、市民生活の安全を図るため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	愛知県公安委員会との協議が長引き、暫定措置として種々の交通事故防止策を行ったが、根本的には新たに用地を取得し、交差点を改良する必要があるため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	交差点改良に必要な用地で、事業を行っており、営業補償、代替地の詮索等事業を継続しながらの用地交渉は難航が予想される。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	平成24年度末に県道東幡豆蒲郡線までの供用開始を目標に事業の進捗を図っているが、事業所に多額の補償金が予想され、予算措置が難しい。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	359	市道南森1号線整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	2点 まもなく実施に入れる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市道南森1号線を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民の利便性及び交通の安全を確保する。
目標 (目指す成果)	生活道路の改良、環境及び交通安全の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	市道南森1号線道路用地を買収し、改良工事を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
用地買収						
物件補償						
工事費(委託料等を含む)	-	-	1件	389千円	-	-

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標				
	実績	-	0.00%		年度
買収人数率	目標				
	実績	-	0.00%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.05人	次長 課長級	0.01人	補佐級	0.01人	係長級	0.03人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	-	389	0
	人件費	-	418	
	合計	-	807	
財源 内訳	特定財源	-	0	
	一般財源	-	807	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	要望等に基づく市道整備事業。予算措置のできたものから順次用地を取得し、整備を図る。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度執行額は、用地取得のための不動産鑑定手数料で、平成23年度取得時の単価決定の基準となるため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	幹線道路以外の市道整備については、財政の都合上、地元等の希望に副えない路線が多い。道路用地を寄付採納し、整備を図る必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	現況市道の道路用地の取得については、寄付を原則としており、今後も、徹底を図る。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	補助事業対象路線以外の単価決定については、取引事例を基準に時点修正を行い単価を決定、不動産鑑定手数料の節減を図る。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	360	幹線道路関連（国道23号蒲郡バイパス）整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け（該当しない事業については記入不要です。）				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	国が施行する国道23号蒲郡バイパスの未整備区間（幸田芦谷IC～蒲郡IC）の整備を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	交渉業務（連絡、庁内連絡、交渉業務及び代替地の詮索等）及び国道23号蒲郡バイパスと交差する交差点の改良等を行うことにより、
目標 (目指す成果)	地域経済の活性化、道路交通網の整備、土地利用の促進、市民の安全確保、生活環境の改善及び利便性の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	交渉業務を円滑に行うことにより、事業の促進を図る。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
用地買収	3,894㎡	1,596㎡	7,773㎡
物件補償	7件	4件	11件

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			100.00%	年度
	実績	96.65%	97.04%		
買収人数率	目標			100.00%	年度
	実績	93.82%	95.27%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	2.23人	次長 課長級	1.42人	補佐級	0.35人	係長級	0.41人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	
H22 人工計	2.67人	次長 課長級	1.12人	補佐級	0.15人	係長級	1.18人	一般職	0.22人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	20,641	22,319	
	合計	20,641	22,319	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	20,641	22,319	

必要性

必要性	C 市が実施しなくてもよい(国・県・広域で実施)
理由	国道23号蒲郡バイパス整備事業は国が事業主体であり、引き続き国と協力し、事業の早期完了を図る。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	用地買収と並行して工事を発注、概ね見合った成果をあげている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	幸田芦谷IC～蒲郡IC間のうち、柏原、神ノ郷、坂本地区は用地の取得が完了したが、清田地区については、事業に反対の者、行政不満から立会いを拒否している者があり、現行の進めかたでは目標年度内に事業が完了しない。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	引き続き地価の下落、代替地の詮索、境界未確定により用地交渉が進展していない。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	予算の確保に加え、任意交渉と並行し、土地収用も視野に事業の進捗を図るよう国に要望していく。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	361	幹線道路関連（国道247号中央バイパス）整備事業		
-------	-----	--------------------------	--	--

根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間		
-------	-----	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
----------	--------------	--	--

市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		
---------------	-------------------------	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	愛知県が施行する国道247号中央バイパス未整備区間（都市計画道路坂本線～都市計画道路蒲郡碧南線）の整備を図るため、
対象(受益者) (誰・何を)	交渉業務（連絡、庁内調整、交渉業務及び代替地の詮索等）及び国道247号中央バイパスと交差する交差点の改良、市道機能回復（公共補償）を行うことにより、
目標 (目指す成果)	地域経済の活性化、道路交通網の整備、土地利用の促進、市民の安全確保、生活環境の改善及び利便性の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	交渉業務を円滑に行うことにより、事業の促進を図る。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	用地買収	1,071.27㎡	103,369千円	1,641.16㎡	142,361千円	2,293.63㎡
物件補償	12件	168,466千円	6件	121,687千円	8件	75,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			100.00%	年度
	実績	90.66%	93.93%		
買収人数率	目標			100.00%	年度
	実績	83.97%	88.55%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	2.11人	次長 課長級	0.98人	補佐級	0.60人	係長級	0.53人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	2.18人	次長 課長級	0.96人	補佐級	0.55人	係長級	0.60人	一般職	0.07人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	19,325	19,040	
	合計	19,325	19,040	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	19,325	19,040	

必要性

必要性	C 市が実施しなくてもよい(国・県・広域で実施)
理由	国道247号中央バイパス整備事業は、愛知県が事業主体であり、引き続き愛知県と協力し、事業の進捗を図る。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	用地買収済区間から工事を行ってきたが、道路は全線が供用されて初めてその効能を発揮するため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	残る地権者の中には、事業に反対の者、過剰な補償を求める者がある。目標年度に向け事業の進捗を図るためには、任意交渉と並行し、収用も視野に事業の進捗を図る必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	地域を限定し、高い収益性の代替地を地権者が希望しているため、代替地の詮索が困難である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	経済状況の悪化を受け、公共事業のカットが行われている。目標年度に向けて、事業主体の愛知県に対して予算の確保と収用も視野に事業の進捗を求めていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	362	幹線道路関連（国道23号歩道設置工事）整備事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	平成20年度～	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		

事務事業の内容

目的 (何のために)	愛知県が施行する国道23号のうち、三谷町小迫交差点西から三谷町二舗交差点までの約500mの区間の歩道を整備することにより、
対象(受益者) (誰・何を)	市民、観光客、周辺住民及び通学・通勤者の交通の安全を確保する。
目標 (目指す成果)	道路交通網の整備、市民の安全の確保、生活環境の改善及び利便性の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	交渉業務（連絡、庁内調整、交渉業務及び代替地の詮索）、市道機能回復（公共補償）を円滑に行い、国道23号歩道設置の早期完了を図る。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
	面積	千円	面積	千円	面積	千円
用地買収	207.94㎡	20,122千円	140.08㎡	12,558千円	200.00㎡	20,000千円
物件補償	7件	75,772千円	9件	116,013千円	4件	80,000千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
用地買収率	目標			30.00%	年度
	実績	12.24%	20.49%		
買収人数率	目標			35.00%	年度
	実績	12.20%	21.95%		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

用地買収率	用地買収済面積 ÷ 事業用地面積 × 100
買収人数率	買収済人数 ÷ 事業用地所有者数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.13人	次長 課長級	0.09人	補佐級	0.01人	係長級	0.03人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.47人	次長 課長級	0.15人	補佐級	0.16人	係長級	0.16人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	1,211	4,096	
	合計	1,211	4,096	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	1,211	4,096	

必要性

必要性	C 市が実施しなくてもよい(国・県・広域で実施)
理由	国道23号歩道設置事業であり、事業主体の愛知県が用地を取得し、工事を行う。市には直接的な負担がなく、市民及び周辺住民・観光客等の安全性及び利便性の向上を図ることができる。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	事業区間が約500mと長い中、平成21年度から用地買収を開始したが、愛知県の予算が年1億円程度のため、用地買収後、工事に直結していないため。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	区間を定めて用地を買収し、用地が取得できた区間から工事を施工、もって、市民の安全性・利便性の向上を図ることができる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	経済情勢の影響を受け、公共事業予算も削減されている。交通安全の確保のため、愛知県に予算を確保するよう要望していく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	363	小規模工事事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	毎年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	新設又は改良する市道に関連し、
対象(受益者) (誰・何を)	簡便な手続きにより、早期に排水・取付け・関連工事を施工し、
目標 (目指す成果)	交通の安全、生活環境の保全及び道路整備の促進を図る。
そのための 手段 (手法)	緊急に対処する必要があるため、随意契約により発注し、事業効果を図る。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
工事路線数	10路線	2路線	5路線
件数	11件	2件	5件
小規模工事費	9,448千円	1,022千円	3,900千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
小規模工事費 の割合	目標			6.85%	
	実績	4.16%	0.70%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

小規模工事費 の割合	小規模工事費 ÷ 道路建設課工事費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.36人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.19人	係長級		一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.39人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.07人	係長級		一般職	0.30人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	7,729	1,022	3,900
	人件費	2,764	2,406	
	合計	10,493	3,428	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	10,493	3,428	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	道路法に規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であり、緊急に対処し、交通の安全、生活環境の保全及び道路整備の促進を図ることができるため。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	緊急に対処し、交通の安全、生活環境の保全及び道路整備の促進を図ることができた。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	道路法の規定に基づき、市道を管理する主体は、蒲郡市であり、緊急に対処し、交通の安全、生活環境の保全及び道路整備の促進を図ることができるため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	特になし。
今後の改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	364	未供用路線維持管理事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	毎年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路	
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	1点 実施の目処がたっていない			

事務事業の内容

目的 (何のために)	道路用地を買収後、道路予定地の維持管理をするため、
対象(受益者) (誰・何を)	造園業者へ草刈りの委託を行うことによって、
目標 (目指す成果)	農地等への害虫の影響を防除し、周辺環境の整備を図る。
そのための 手段 (手法)	年に2回から3回程度、委託業務を発注し、草刈りを実施している。緊急又は予算が不足する場合は、職員による草刈りも実施している。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
道路環境整備面積	33,686㎡	39,499㎡	35,000㎡
道路環境整備委託料	2,941千円	3,420千円	3,500千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
道路環境整備面積	目標	35,000	35,000	35,000	
	実績	33,686	39,499		
道路環境整備委託料の割合	目標			12.96%	
	実績	11.69%	12.20%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

道路環境整備面積	道路予定地の草刈りを実施した面積
道路環境整備委託料の割合	道路環境整備委託業務費 ÷ 道路建設課委託業務費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.44人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.02人	係長級	0.30人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.51人	次長 課長級	0.06人	補佐級	0.04人	係長級	0.34人	一般職	0.02人	非常勤		再任用	0.05人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,941	3,420	3,500
	人件費	3,317	3,833	
	合計	6,258	7,253	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	6,258	7,253	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市道用地として買収した、道路建設予定地であるため。

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	市道用地として買収しながら、計画区間内の用地買収の遅れ、事業の凍結等により事業の進捗を図ることができず、管理のみを行っているため。

総合評価

総合評価	C 事業の計画、内容及び規模等の改善、縮小の検討が必要である
理由	草刈り費用を執行するだけのため、また、事業用地に協力した者が土地利用を図ることができないため、事業整備期間を定め、期間を超える場合は、土地収用の手続き等を行い、用地を取得し整備していく必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	事業計画に基づき、事業が完了するまでは一定の予算が必要であり、予算措置すべきである。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	都市計画道路豊岡大塚線は、事務事業評価により事業が凍結された。事業が再開されるまでの期間、毎年、道路環境維持のため予算を執行することになるため、再開時期の検討を行なう必要がある。

平成22年度事務事業評価表	担当	建設部 道路建設課	内線等	2272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	365	電柱等移設事業		
根拠法令等	道路法	事業開始年度 事業期間	毎年度	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた		

事務事業の内容

目的 (何のために)	道路の新設及び改良に支障となる電柱等を、
対象(受益者) (誰・何を)	移設又は布設替えすることによって、
目標 (目指す成果)	車道の有効幅員を確保し、まちなみ景観に配慮した道路整備事業の進捗を図る。
そのための 手段 (手法)	電柱等管理者へ補償し、電柱等管理者が、移設又は布設替えを行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度計画	
電柱等移設補償	1件	336千円	5件	2,317千円	6件	2,500千円
排水管布設替等	0件	-	0件	-	-	-

評価指標

(件)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
電柱等移設件数	目標	6	6	6	年度
	実績	1	5		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

電柱等移設件数	支障となる電柱等を補償し、移設した件数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.01人	係長級	0.02人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.09人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.01人	係長級		一般職	0.06人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	336	2,317	2,500
	人件費	993	597	
	合計	1,329	2,914	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	1,329	2,914	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市道の新設又は改良を原因とする支障物件（電柱等）の補償のため、原因者である市が実施する。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	市道の新設又は改良に伴う支障物件（電柱等）を補償し、移設したため。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	市道の新設又は改良に伴う支障物件（電柱等）のみを補償しているため。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	特になし。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	